

3. 0 - 1 歳児の母親・父親の子育て意識、生活

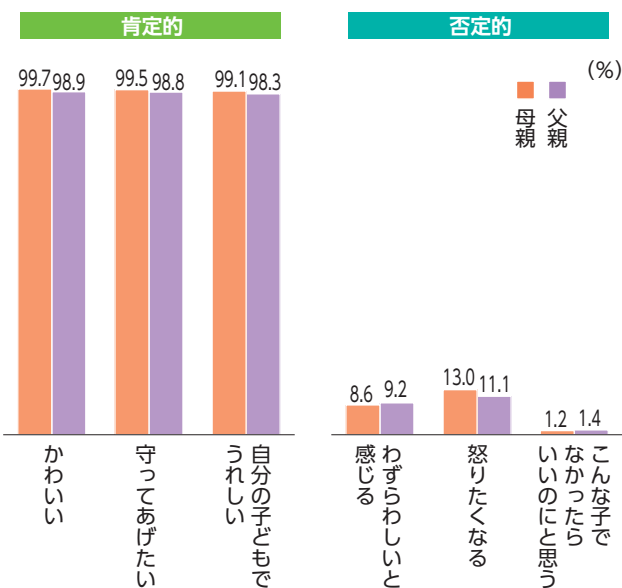
子ども・子育てに対する意識

母親・父親のほぼ100%が、子どもは「かわいい」。一方で、4～5割は「子どもがうまく育っているか不安になる」。

母親・父親のほぼ100%が、子どもを「かわいい」「守ってあげたい」など、肯定的な気持ちをもっている(図3-1-1)。一方で、「子どもがうまく育っているか不安になる」という気持ちも、母親の51.9%、父親の42.1%にある(図3-1-3)。子どもの教育や将来については、6割台の母親・父親が「早いうちから文字や数を学ばせたい」と考えている(図3-1-2)。

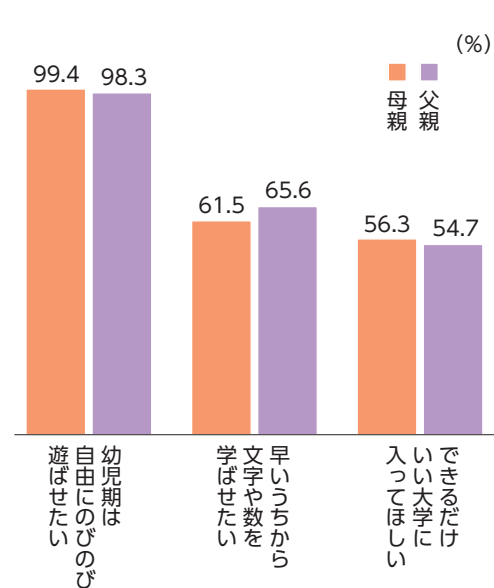
Q 対象のお子様について、以下はどれくらいあてはまりますか。

図3-1-1 子どもに対する気持ち



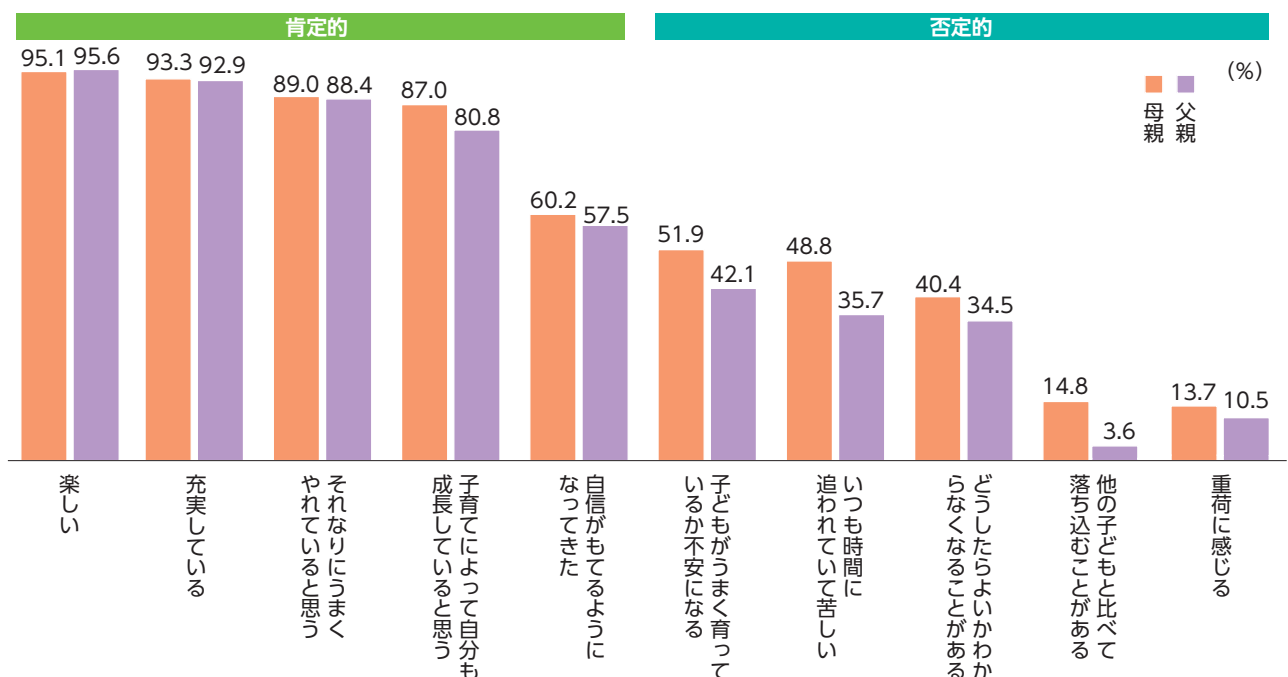
※ 「とてもあてはまる」 + 「まああてはまる」

図3-1-2 教育や将来について



※ 「とてもあてはまる」 + 「まああてはまる」

図3-1-3 子育てに対する気持ち



※ 「とてもあてはまる」 + 「まああてはまる」

母親の子育ての悩みは、上位から「離乳食・幼児食の与え方」「子どもへの接し方」「夜泣き」。子どもの月齢とともに、悩みは変化する。

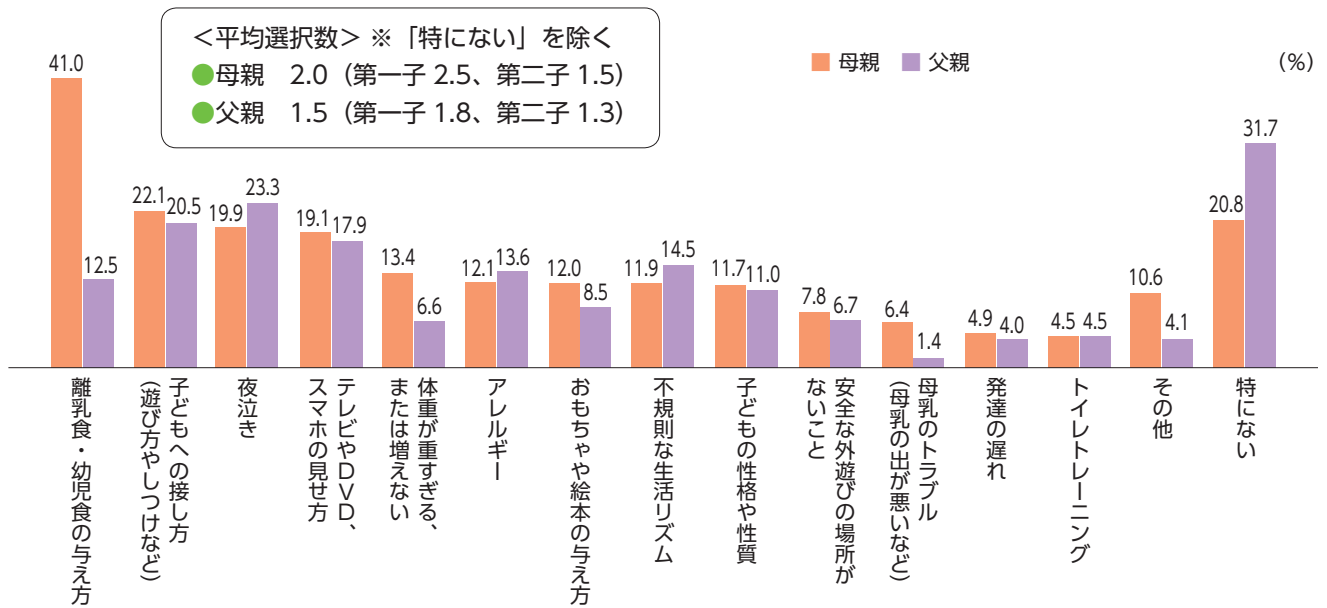
子育ての悩みについて複数回答でたずねたところ、母親の20.8%、父親の31.7%が「特にない」であった。それを除くと、母親の悩みは上位から「離乳食・幼児食の与え方」(41.0%)、「子どもへの接し方」(22.1%)、「夜泣き」(19.9%)である(図3-2-1)。月齢が高くなるほど増える母親の悩みが「トイレトレーニング」「子どもの性格や性質」「子どもへの接し方」「テレビやDVD、スマホの見せ方」であり、月齢とともに減る悩みが「母乳のトラブル」「離乳食・幼児食の与え方」である(図3-2-2)。また、対象の子どもが第一子の母親で、より悩んでいる比率が高い傾向もみられた(図3-2-3)。

3.

0-1歳児の母親・父親の子育て意識、生活

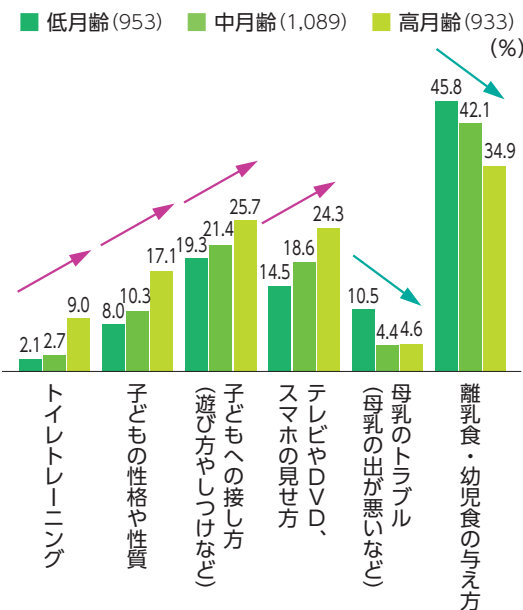
Q 対象のお子様の子育てで、あなたが悩んでいることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

図3-2-1 子育ての悩み



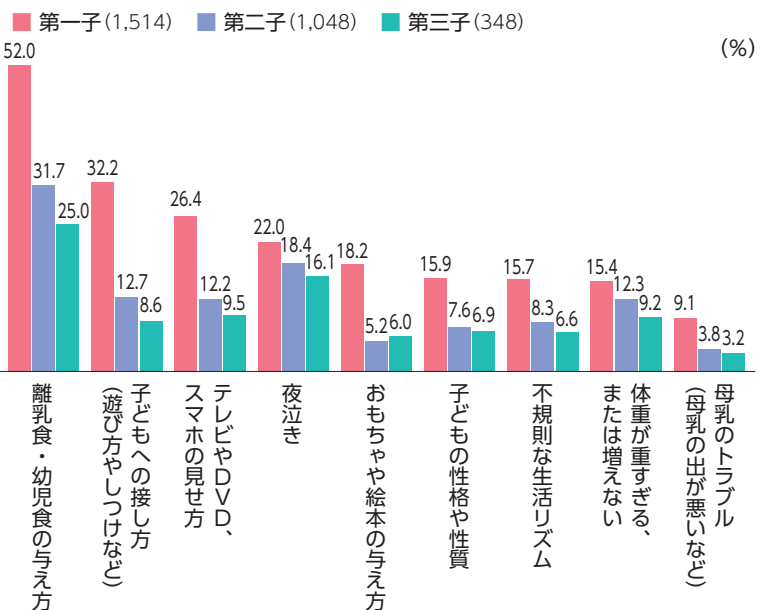
※ 複数回答

図3-2-2 子育ての悩み(月齢3区分別・母親)



※ 複数回答
 ※ 低月齢と高月齢で5ポイント以上差のあった6項目を図示
 ※ 月齢区分の低月齢は0歳6か月～0歳9か月、中月齢は10か月～1歳1か月、高月齢は1歳2か月～1歳5か月である
 ※ 母親の回答

図3-2-3 子育ての悩み(子どもの出生順位別・母親)



※ 複数回答
 ※ 第一子と第三子で5ポイント以上差のあった9項目を図示(「特にない」を除く)
 ※ 第三子までを図示
 ※ 母親の回答

父親の平日の子育て時間は、約7割が「2時間未満」。休日は個人差がある。

平日の子育て時間は、父親の43.6%が「0分」または「1時間未満」、30.8%が「1～2時間未満」であり、「2時間未満」が約7割を占めている。一方、母親は71.6%が「10時間以上」である(図3-3-1)。母親は休日も約8割が「10時間以上」であるが、父親は22.0%が「2～4時間未満」、19.4%が「4～6時間未満」、19.1%が「6～10時間未満」と個人差がある(図3-3-2)。また、父親が子育てに関わる時間が長いほうが、母親からみて「配偶者(父親)と子育てや家事をよく助け合っている」と思う傾向や、父親自身が「子育てによって自分も成長していると思う」と感じる傾向がみられた(図3-3-3～4)。



以下にあげる時間は、1日あたり平均してどれくらいですか。子育て時間は、あなたが対象のお子様と一緒に過ごす時間(睡眠時間は除く)をお答えください。

図3-3-1 平日の子育て時間

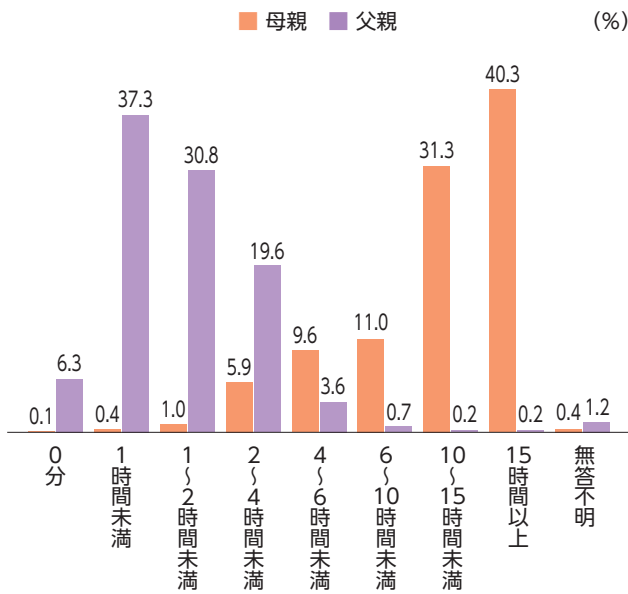


図3-3-2 休日の子育て時間

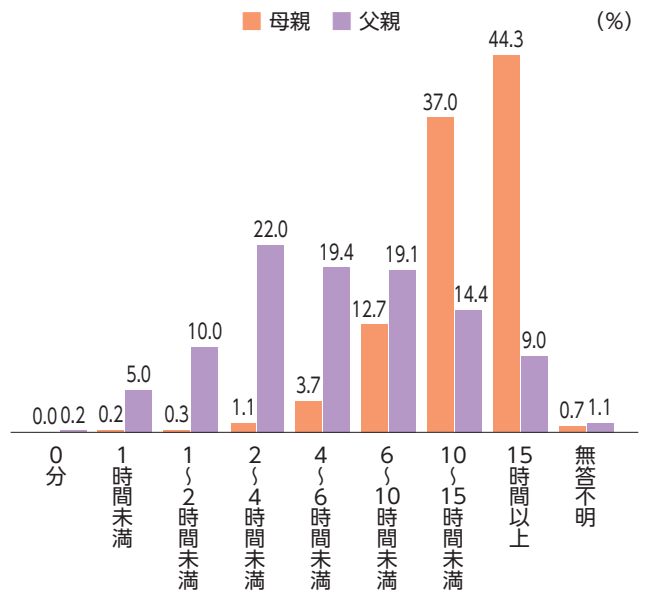


図3-3-3 配偶者(子どもの父親)と「子育てや家事をよく助け合っている」(平日の父親の子育て時間別・母親)

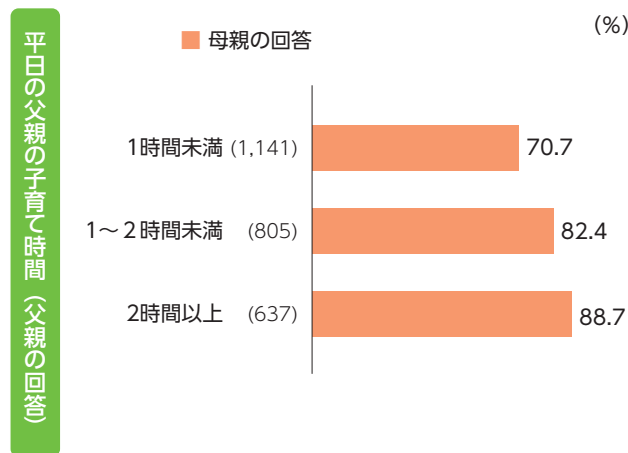
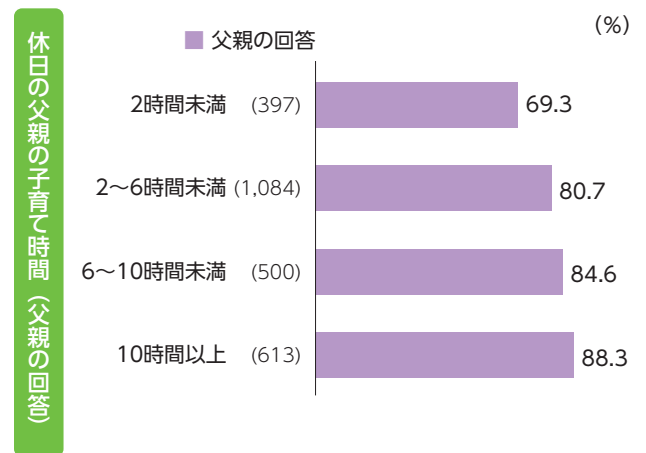


図3-3-4 「子育てによって自分も成長していると思う」(休日の父親の子育て時間別・父親)



※ 「とてもあてはまる」 + 「まああてはまる」
 ※ 「1時間未満」は「0分」 + 「1時間未満」。「2時間以上」は「2～4時間未満」 + 「4～6時間未満」 + 「6～10時間未満」 + 「10～15時間未満」 + 「15時間以上」

※ 「とてもあてはまる」 + 「まああてはまる」
 ※ 「2時間未満」は「0分」 + 「1時間未満」 + 「1～2時間未満」。「10時間以上」は「10～15時間未満」 + 「15時間以上」

平日、自由に過ごせる時間は、母親・父親ともに半数以上が「1時間未満」。休日はやや増えるものの、「3時間以上」の比率は母親7.3%、父親26.3%と違いがある。

平日の家事時間で割合が高いのは、母親では「2～4時間未満」(41.9%)、父親では「30分未満」(40.6%)である(図3-3-5)。母親は休日あまり変わらず、41.0%が「2～4時間未満」である。父親は28.0%が「30分～1時間未満」、24.3%が「1～2時間未満」と平日より長くなるものの、31.7%は「0分」または「30分未満」である(図3-3-6)。平日の自由な時間は、母親・父親ともに半数以上が「1時間未満」である(図3-3-7)。休日、自由に過ごせる時間は平日よりも母親・父親ともに長くなる傾向があるが、「3時間以上」の比率は母親7.3%、父親26.3%と19ポイントの差がある(図3-3-8)。家事・子育ての負担感や、「自由にできる時間が十分にとれない」という気持ちは、母親の6～8割が感じている(図3-4)。

3.

0-1歳児の母親・父親の子育て意識、生活

Q 以下にあげる時間は、1日あたり平均してどれくらいですか。

図3-3-5 平日の家事時間

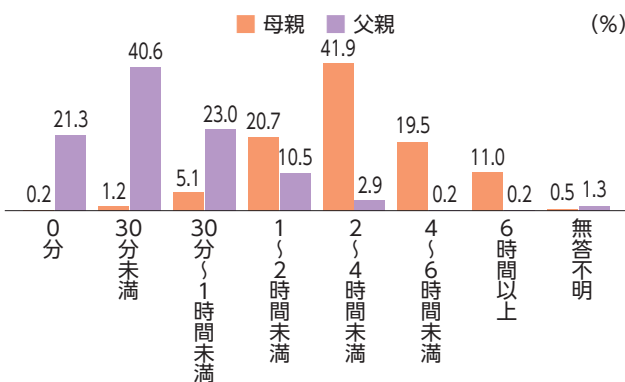


図3-3-6 休日の家事時間

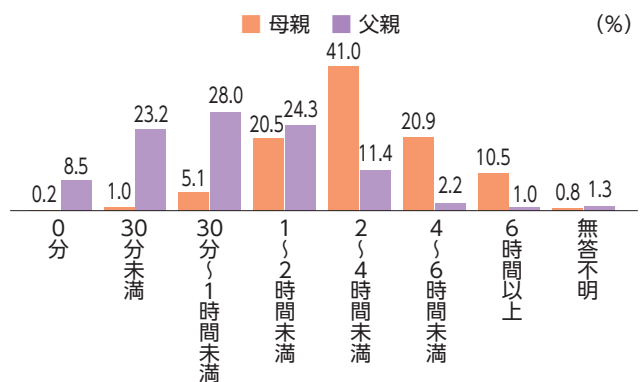


図3-3-7 平日の自由な時間

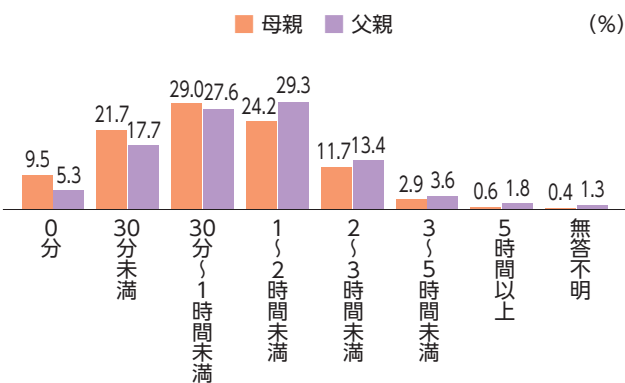
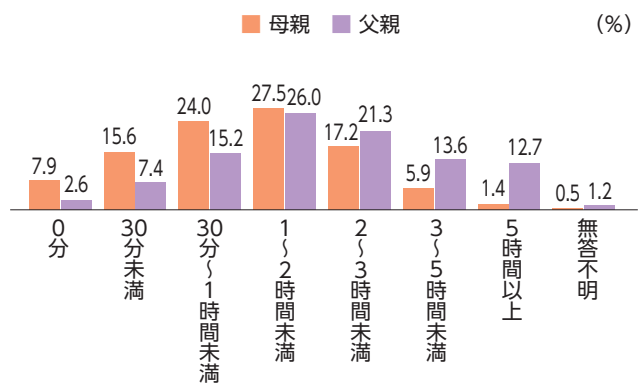
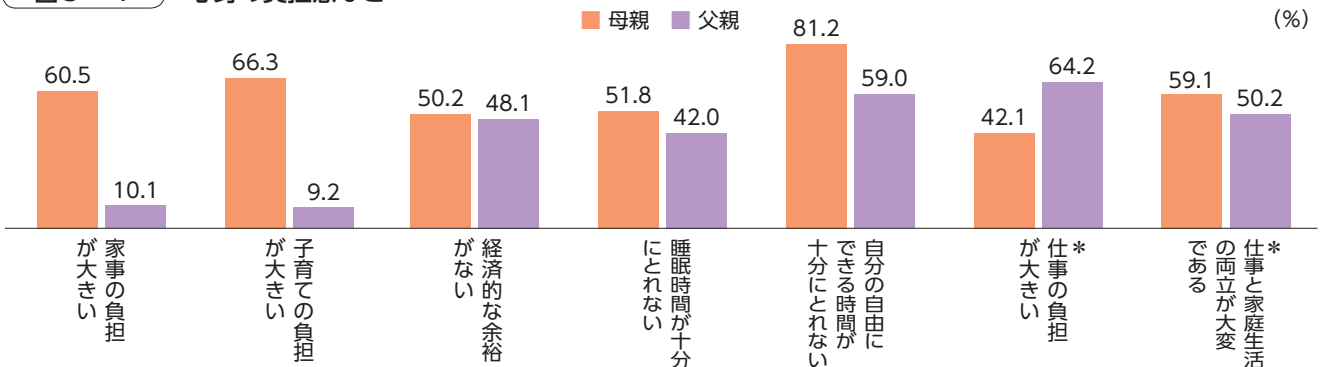


図3-3-8 休日の自由な時間



Q 現在のあなたの状況について、以下はどれくらいあてはまりますか。

図3-4 心身の負担感など



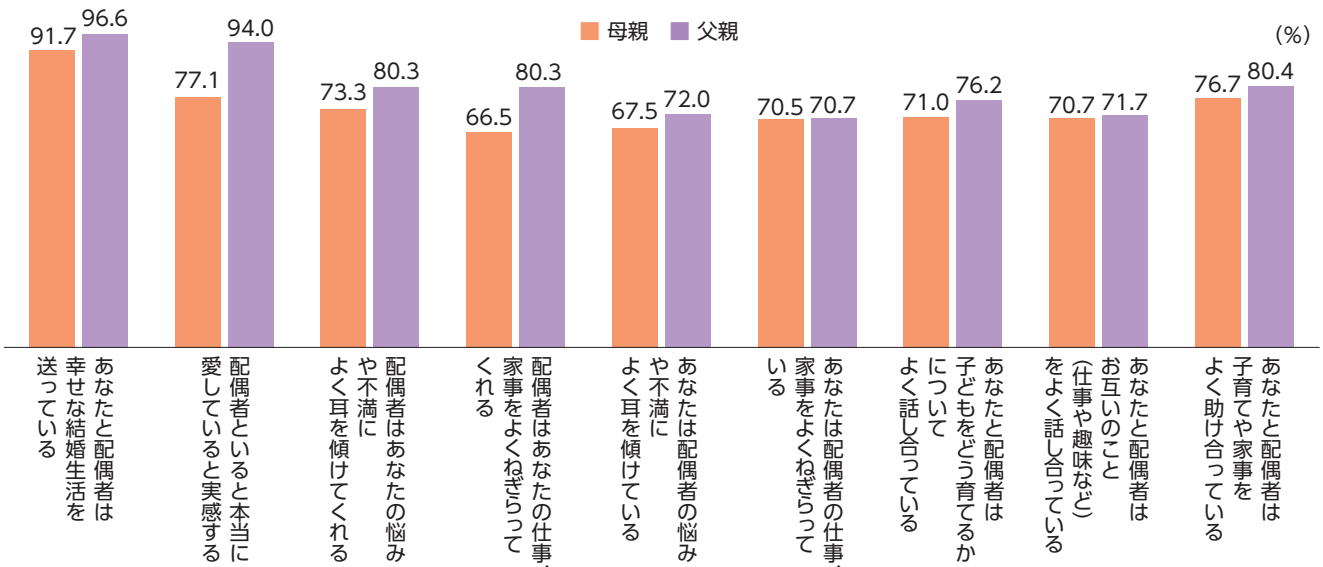
* 「とてもあてはまる」 + 「まああてはまる」 ※ *の項目は「休職中」「無職」を除く、就労している母親847人、父親2,564人の回答

夫婦関係は総じて良好であり、幸福感は9割を超える。「配偶者」といって本当に愛していると実感する」は、母親と父親の間で差がみられる。

母親の91.7%、父親の96.6%は、配偶者と「幸せな結婚生活を送っている」と評価している。また母親の76.7%、父親の80.4%は、配偶者と「子育てや家事をよく助け合っている」と感じている。一方で、「配偶者」といって本当に愛していると実感する」については、母親77.1%、父親94.0%であり、約17ポイントの差がみられた(図3-5)。子育てで頼りになる人については、母親は上位から「あなたの親族」84.2%、「配偶者」83.9%、「子育てを通してできた友人」65.6%であった(図3-6)。生活全体の幸福感は、母親・父親ともに90%を超える(図3-7)。

Q あなたと配偶者のことについてうかがいます。

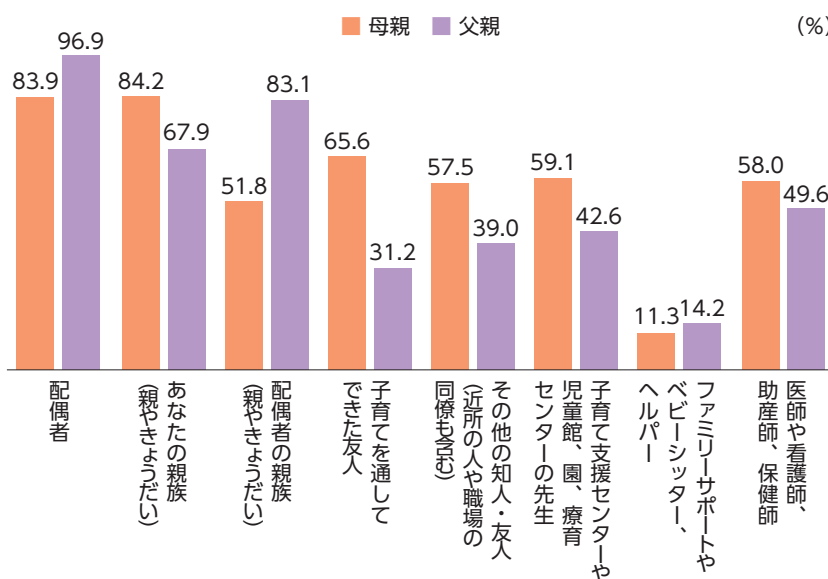
図3-5 夫婦関係



※「とてもあてはまる」+「まああてはまる」 ※ 配偶者がいる母親 2,915人、父親 2,582人の回答

Q 子育てを支えてくれる人(悩みを相談したり、子どもを預けたりできる人)として、以下の人はどれくらい頼りになりますか。

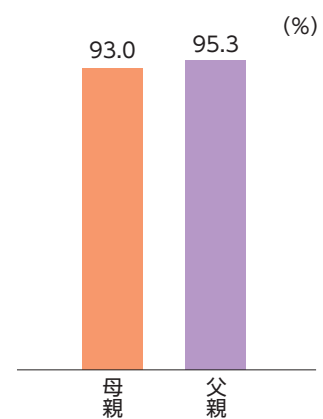
図3-6 子育てで頼りになる人



※「とても頼りになる」+「まあ頼りになる」

Q 全体として、あなたの生活はどれくらい幸せですか。

図3-7 幸福感



※「とても幸せである」+「まあ幸せである」

父親の約4人に1人は、「週60時間以上」働いている。また約3割は、21時以降に帰宅する。職場に「定時に帰りやすい雰囲気がある」と回答した父親は42.6%。

就労している父親の週あたりの労働時間は35.2%が「40～50時間未満」、29.1%が「50～60時間未満」であり、23.4%は「60時間以上」であった(図3-8-1)。帰宅時刻は、19時台が21.3%と最も多いが、21時台以降も30.8%いる(図3-8-2)。職場環境については、「定時に帰りやすい雰囲気がある」と答えた父親は42.6%と半数に満たない。また「子どものことで休みをとったり、早退しやすい」、「部下が子育てに時間を割くことに、上司は理解がある」はいずれも約6割であった(図3-8-3)。

3.

0-1歳児の母親・父親の子育て意識、生活

Q あなたご自身についてうかがいます。

図3-8-1 父親の週あたりの労働時間

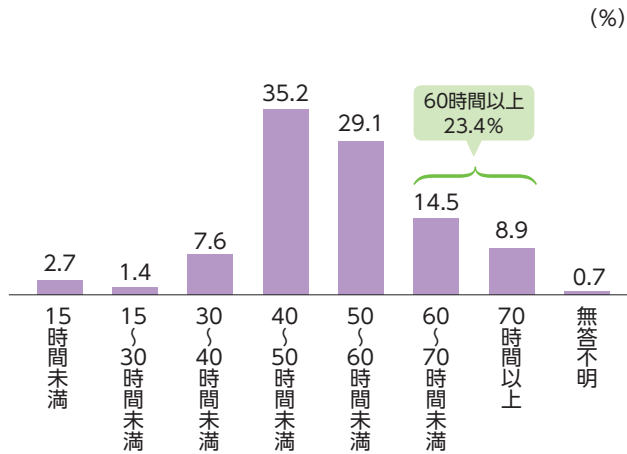
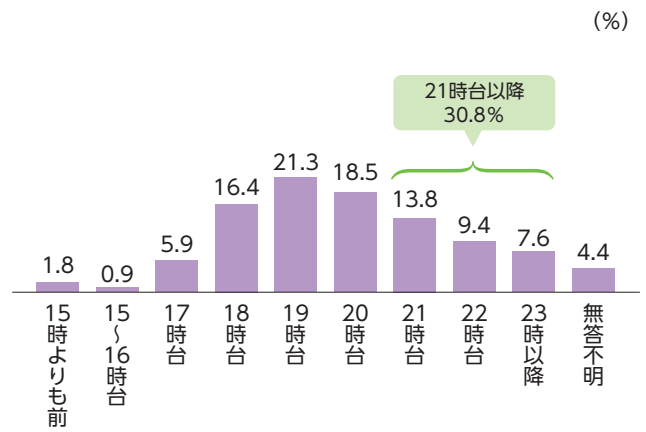


図3-8-2 仕事がある日の父親の帰宅時刻

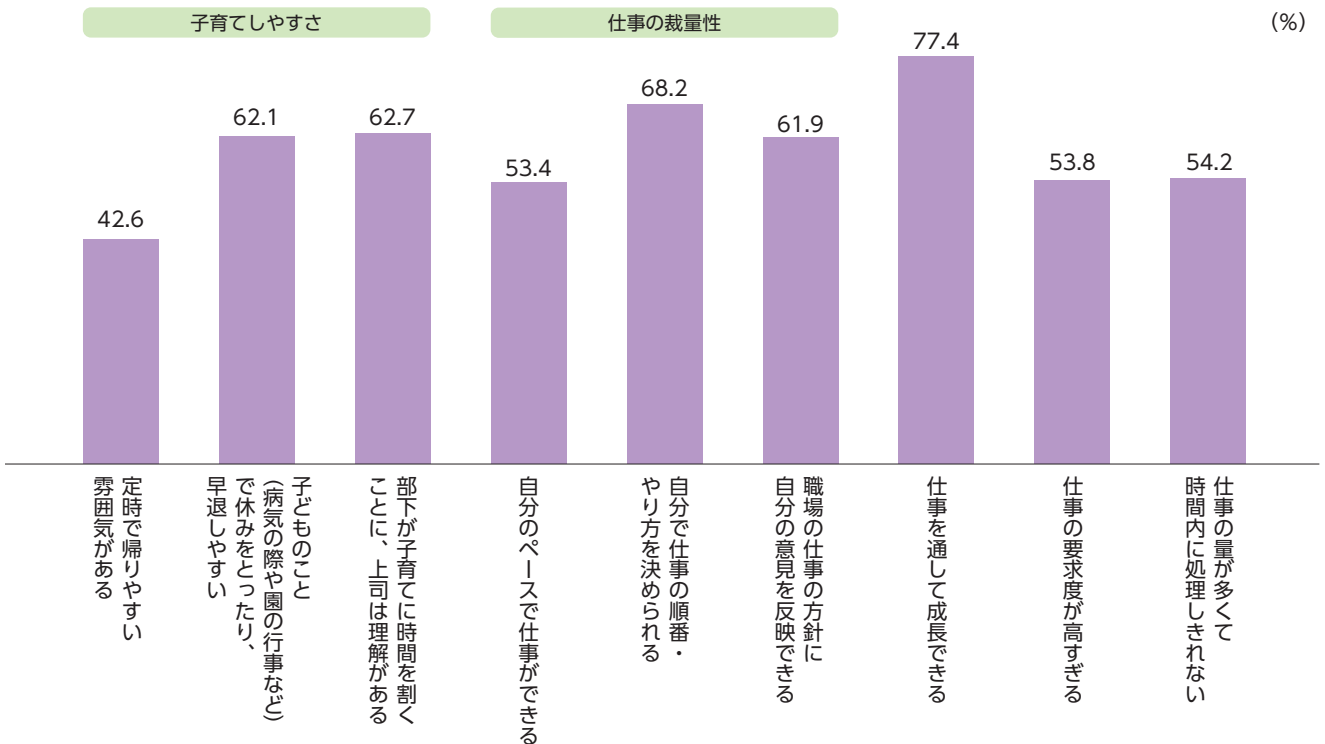


※「休職中」「無職」を除く、就労している父親 2,564 人の回答

※「休職中」「無職」を除く、就労している父親 2,564 人の回答

Q あなたの職場では、以下についてどれくらいあてはまりますか。

図3-8-3 父親の職場環境



※「とてもあてはまる」+「まああてはまる」

※「休職中」「無職」を除く、就労している父親 2,564 人の回答

母親の45.5%は子どもを「あと1人以上もつ予定」、28.6%は「もっとほしいが難しい」。

これから子どもをもつ予定について、「あと1人の予定」と答えた母親は36.0%、「あと2人以上の予定」は8.4%、「希望する性別の子どもが生まれるまでもつ予定」は1.1%であり、合わせて45.5%であった(図3-9-1)。子どもが1人いる母親の56.1%は「あと1人の予定」であるが、子どもが2人いる母親では42.2%が「0人(もっとほしいが難しい)」であった。母親は父親よりも「もっとほしいが難しい」とより感じている傾向もみられた(図3-9-2)。難しい理由は、母親・父親ともに上位から順に「子育てや教育にお金がかかるから」「子育ての身体的な負担が大きいから」「子育てと仕事の両立が難しいから」であった(図3-9-3)。

Q あと何人、子どもをもつ予定ですか。

図3-9-1 子どもをもつ予定

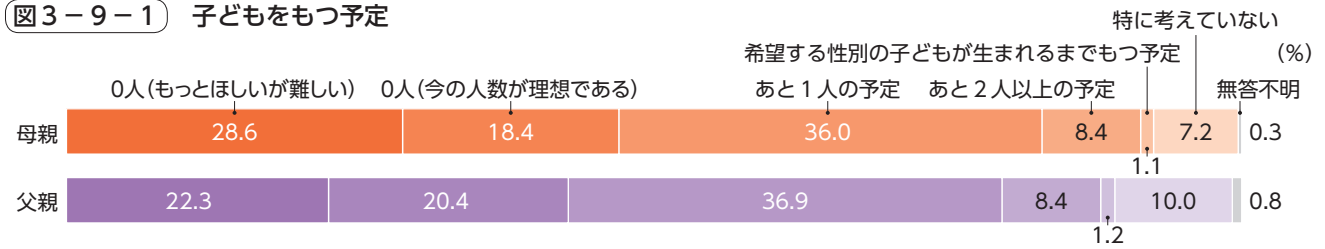
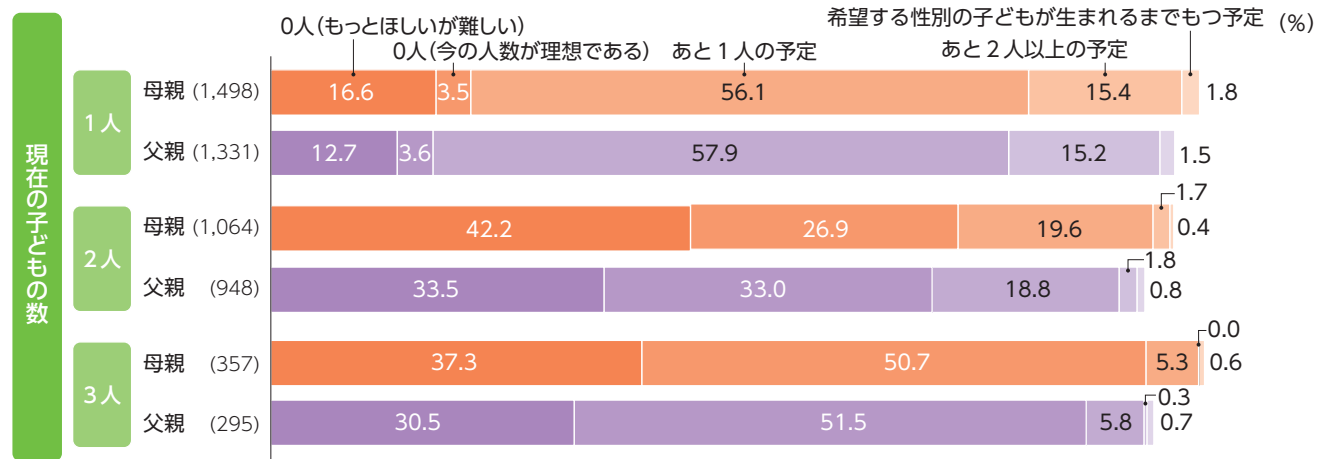


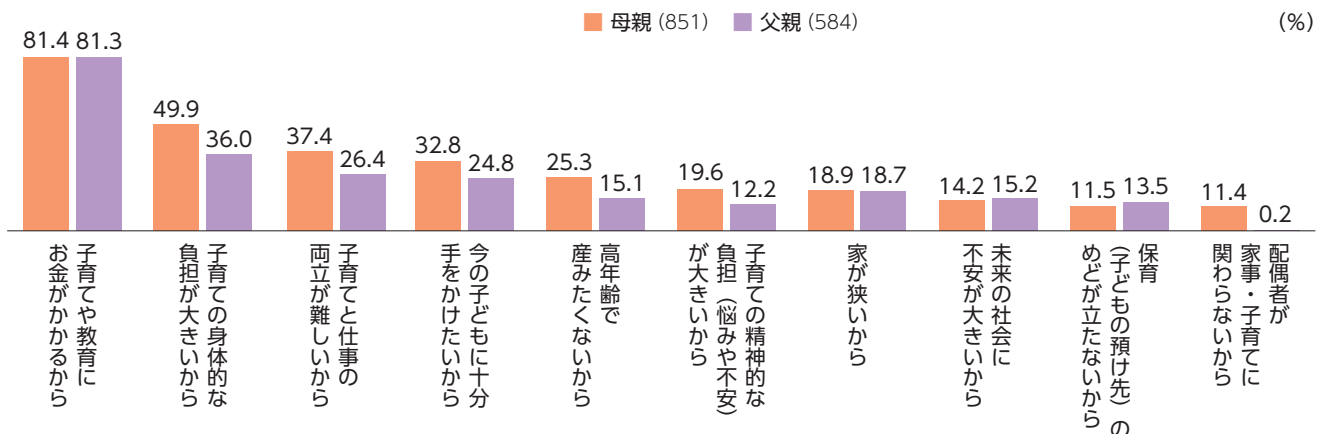
図3-9-2 子どもをもつ予定(現在の子どもの数別)



※ 「特に考えてない」、無答不明は省略
 ※ 現在の子ども数が3人までを図示

Q 「0人(もっとほしいが難しい)」を選んだ理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

図3-9-3 子どもを「もっとほしいが難しい」理由



※ 「0人(もっとほしいが難しい)」を選んだ人のみ ※ 18項目のうち、母親の上位10項目を図示
 ※ 複数回答

「子育てと仕事を両立しやすい社会である」と思う母親は9.3%、父親は17.0%と低い。子育てしやすい社会にするために、「子育て・教育にかかる費用の軽減」「子育てと仕事の両立支援の充実」「保育の量と質の充実」が必要という回答が多い。

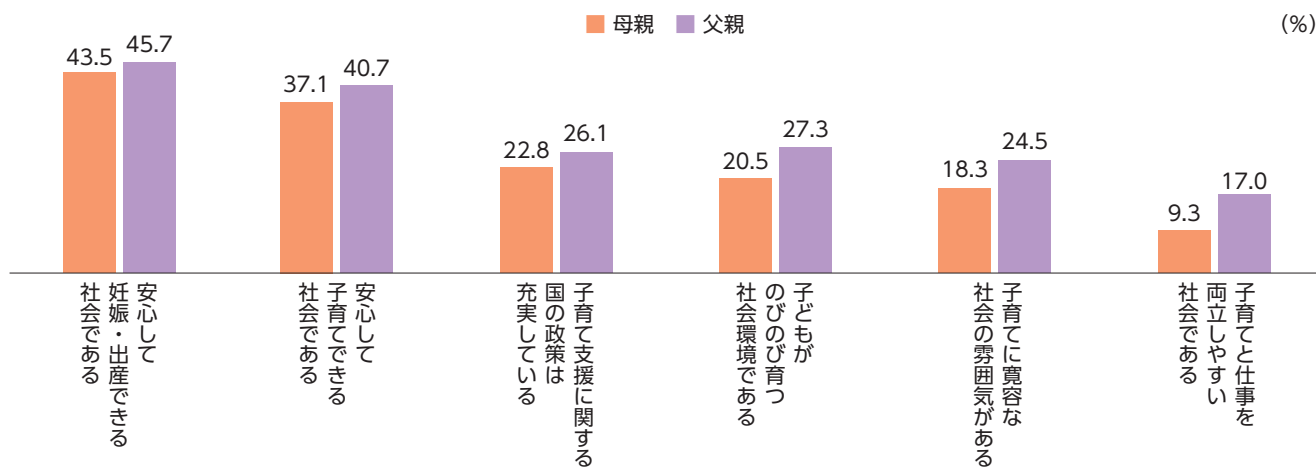
3.

0-1歳児の母親・父親の子育て意識、生活

今の日本の子育て環境に対する評価は厳しい。図3-10であげた項目のいずれも、「そう思う」(とても+まあ)比率が半数に満たない。特に低かったのは「子育てと仕事を両立しやすい社会である」(母親9.3%、父親17.0%)、「子育てに寛容な社会の雰囲気がある」(母親18.3%、父親24.5%)であった。母親のほうが、全体的に評価が低い。また子育てしやすい社会にするために今よりもいっそう必要だと思うことについては、母親の上位から順に「子育て・教育にかかる費用の軽減」(81.7%)、「子育てと仕事の両立支援の充実」(75.8%)、「保育の量と質の充実」(71.9%)であった(図3-11)。

Q あなたは今の日本の社会について、以下のことをどれくらい思いますか。

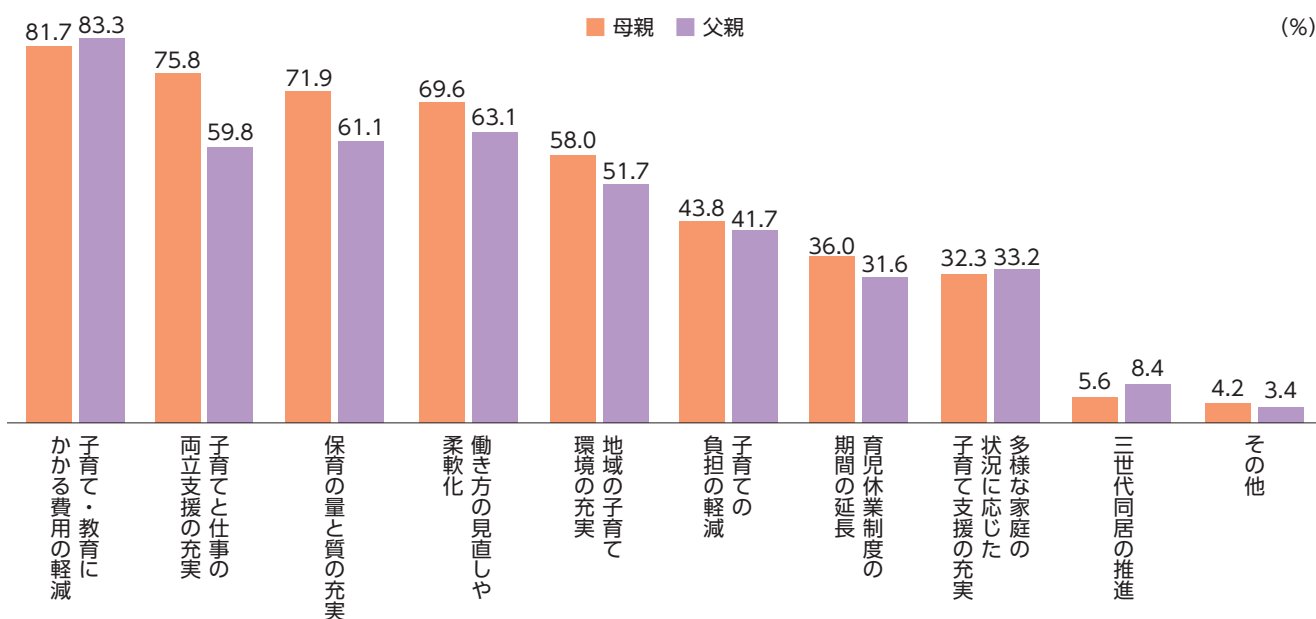
図3-10 社会に対して感じる事



※ 「とてもそう思う」 + 「まあそう思う」

Q 安心して子どもを産み育てやすい社会にするために、今よりもいっそう必要だとあなたが思うものは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

図3-11 子育てしやすい社会にするために必要だと思うこと



※ 複数回答